

二十一世紀への展望 — パソコンリテラシ

渡邊 茂

東京科学技術大学

“情報リテラシとは何か”と聞かれたとき、二つの困惑が生じる。その一つは、あまりにも易しい常識の中から何を取り上げればよいかに迷うことと、もう一つは、将来の情報機器と情報化社会の望ましい方向とを踏まえたうえで、適正な知識を取り出さねばならないことである。そこで、まず、情報化の歴史を遡り、哲学、論理学及び数学のような学問の世界から、技術社会、行政社会、更に産業界を経て、現在のユーザ志向の世界になるまでのつながりを辿り、次にマイクロコンピュータ（マイコン）及びパーソナルコンピュータ（パソコン）が時代とともに急進し、多くの新語が現れ、死語になって消えていく中で、これからの社会がどうなるかを展望してみたい。

(Keynote speech)

General View Toward The 21 Century -- Personal Computer Literacy

Shigeru WATANABE

Tokyo Metropolitan Institute of Technology

When some one asks what information literacy is, people can't answer because this term is too simple and no one knows the future of computer. So I would like to mention the history of computer and consider the role of a computer oriented society in the 21 century.

マイクロコンピュータ(microcomputer)による社会の変貌及び今後の変貌予想をまとめると、表1のとおりとなる。

表1 マイクロコンピュータによって
社会はどう変わったか？ どう変わるか？

	どう変わったか？	どう変わるか？
学校	偏差値万能，塾全盛	何を憶えるか→何を調べるか
家庭	在宅勤務，クレジットカード破産	職住一体，小企業乱立，自宅学習
事務所	OA，印鑑→署名	万能ポケコン，オープンシステム
工場	FA，自動化，ロボット	受託即納システム
交通	渋滞増加，旅行ブーム	渋滞解消，自由旅行
通信	マルチメディア，実時間処理	マルチネット，超高速化